

企業ニュース ニトリホールディングス

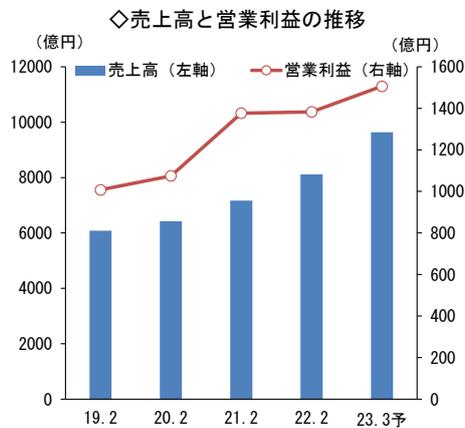
(東証プライム: 9843) <https://www.nitorihd.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

中長期の成長に向けた施策が進む

家具・インテリア販売チェーン。2021年3月、家具・インテリア専門店やホームセンターを展開する島忠を子会社化。22.2期末のグループ店舗数は801店（国内708店、台湾44店、中国46店、米国2店、マレーシア1店）。

足元は原材料価格の高騰や物流費の増加、為替の影響などを受けて厳しい事業環境が続いているが、島忠とのシナジー創出やサプライチェーンの見直し、海外展開の加速など中長期の成長に向けた施策は着実に進んでいる印象。海外展開では、中国において出店を再加速、新店を含めて単年度での黒字化を目指す。また、22.2期から東南アジアへの出店を開始、今後5年間でマレーシアに20店、シンガポールに10店の出店を計画している。



(注) 23.3期予想は決算期変更に伴う13カ月11日の変則決算 (出所) ニトリホールディングス資料よりCAM作成

35期連続の増収増益を達成

22.2期（2021年2月21日～2022年2月20日）の連結業績は、売上高が8,116億円、前期比13%増、営業利益1,383億円、同横ばい。島忠の連結効果により対前期で営業増益を確保、35期連続の増収増益となった。ニトリ事業は巣ごもり需要による前期好調の反動減などにより減収、利益面では物流の効率化・内製化による発送配達費の削減や、各種業務委託費の抑制に取り組んだが、減収をカバーしきれず営業減益となった。

23.3期（決算期変更のため13カ月11日の変則決算）の通期会社計画は、売上高が9,636億円、営業利益が1,506億円。会社は12カ月ベースでも増収増益を維持する見込みとしている。出店は国内100店、台湾10店、中国26店、米国1店、マレーシア2店、シンガポール2店を見込んでおり、期末店舗数は942店となる予定。国内はニトリ業態のほか、生活雑貨を中心としたデコホーム業態の出店を増やすなど、立地に合わせた展開を進める。ニトリ事業の既存店売上高前提は前期比2.6%増、3月は前年同月比3.6%減と厳しいスタートに見えるが、会社想定は上回っている模様。為替前提は通期で115円/ドル、円安進行は懸念材料だが9月までは114.90円で予約している。

【株価動向・投資判断】

成長に向けた施策が順調に進捗しており、中長期での業績拡大が期待できよう。

<9843 ニトリHD 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

| | 売上高 百万円 (伸び率) | 営業利益 百万円 (伸び率) | 経常利益 百万円 (伸び率) | 当期利益 百万円 (伸び率) | 1株利益 円 | 1株配当 円 |
|--------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------|-----------|
| 21.2 | 716,900 (12) | 137,687 (28) | 138,426 (26) | 92,114 (29) | 817.0 | 123.00 |
| 22.2 | 811,581 (13) | 138,270 (0) | 141,847 (2) | 96,724 (5) | 856.7 | 140.00 |
| 23.3 予 | 963,600 (-) | 150,600 (-) | 153,000 (-) | 104,000 (-) | 921.0 | 147.00 |

(注) 23.3期予想は決算期変更に伴う13カ月11日の変則決算であるため、対前期の伸び率は「-」表示。



| [主要株価指標] (売買単位: 100株) | |
|-----------------------|-------------------|
| 株価 (2022/4/1) | 15,450 円 |
| 年初来高値 (高値日) | 18,255 円 (22/1/6) |
| 同 安値 (安値日) | 14,565 円 (22/4/1) |
| 予想 P E R (23.3 予) | 16.8 倍 |
| 1株株主資本 (PBR算出用) | 6,489.6 円 |
| P B R | 2.38 倍 |
| 予想配当利回り | 0.95 % |
| (1株当たり配当金年147.00円) | |
| R O E (22.2) | 14.1 % |
| 発行済み株式数 | 11,444 万株 |